2025 年 11 月 26 日
株式会社タカショー

～第3四半期　投資効果が顕在化し、収益拡大
通期業績予想は据え置き～

１．投資効果の顕在化

プロユース事業における非住宅分野の採用拡大や LED 庭照明をはじめとする商材の販売増加、さらに連結子会社タカショーデジテックの成長が寄与し、売上・利益とも大幅に増加しました。営業利益は前年同期△169 百万円から1億46 百万円へと急伸し、投資効果が顕在化。収益性の改善が進むとともに、ドローン事業など新分野も軌道に乗り、今後の持続的成長へとつながる成果が表れています。

【営業利益前年比較】
2025 年1月期 3Q:▲169 百万円　　2026 年1月期 3Q:146 百万円　※対前年316 百万円増

２．今後の展開について

株式会社タカショーデジテックが手掛けるイルミネーション事業が第 4 四半期に売上が集中するほか、地方創生やインバウンド需要の回復に伴うホテル・商業施設・大手チェーンの新設・リノベーション需要への販売強化を図ります。
ホームユース事業では、庭での暮らしを楽しむための新商品の導入や e コマースの拡充、自社工場での新商品開発・グローバル共通商品の展開によりブランド競争力と販売拡大を進めます。
海外事業では、欧州・米国の展示会出展や未開拓地域への営業展開、新規アイテム投入、現地調達体制の構築による安定供給、プロユース商材「エバーアート」シリーズの販売強化、米国市場向け日本文化・自然共生商材の提案を通じ、販売拡大とタカショーブランドの認知度向上を目指します。

３．2026 年 1 月期の業績予想について

第 4 四半期への売上のずれ込みと税負担の増加により、第 3 四半期の当期純利益は一時的に黒字化にはいたっておりませんが、イルミネーション事業の急成長により、第 4 四半期において安定した収益が獲得できるビジネスモデルに転換したことから、通期の当期純利益1億 60 百万円の予想を据え置いております。

（単位：百万円）	2025年１月期 3Q累計	2026年１月期 3Q累計	増減率	2026年１月期 着地予想
売上高	14,875	**15,325**	103.0%	21,736
売上総利益（粗利率）	6,293（42.3%）	**6,494**（42.4%）	103.2%（+0.1%）	9,275（42.7%）
販管費	6,462	**6,348**	98.2%	8,966
営業利益	▲169	**146**	—	**463**
経常利益	▲110	**236**	—	**470**
当期純利益	▲275	**▲46**	—	**160**

Point
イルミ事業の急成長により４Qで安定した収益のビジネスモデルに転換

※上記修正予想は、10/20 時点の為替レートで算出しております。為替変動により、利益が増減する可能性がございます。

今後も「持続的な成長」と「社会的価値の創出」を両立する企業を目指し、全社一丸となって邁進してまいります。
引き続き、ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

【お問合せ先】
株式会社タカショー　広報 IR 室　TEL:073-486-2540　Email:takasho_ir@takasho.co.jp